

経営比較分析表（令和元年度決算）

北海道名寄市 名寄東病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|------------|----------|---------|---------------|------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 100床以上～200床未満 | 自治体職員 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 指定管理者(代行制) | 3 | - | - | - |
| 人口(人) | 建物面積(mi) | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 27,277 | 8,895 | 第2種該当 | 20:1 | |

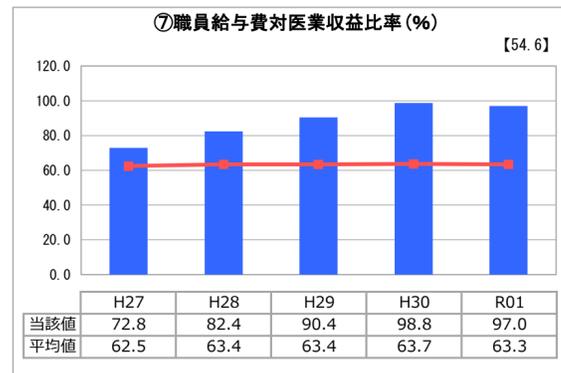
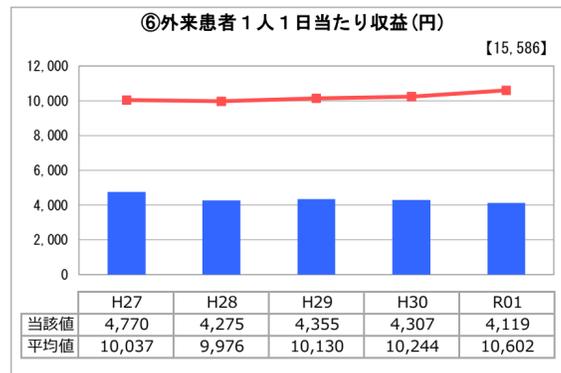
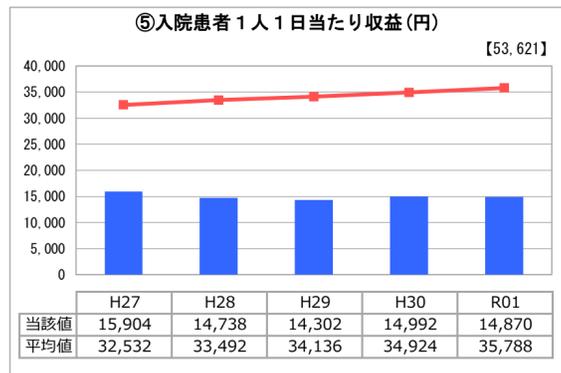
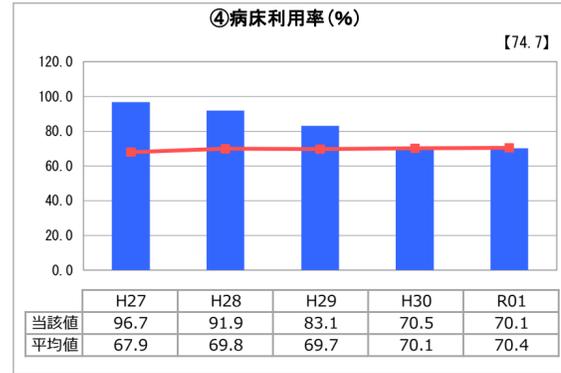
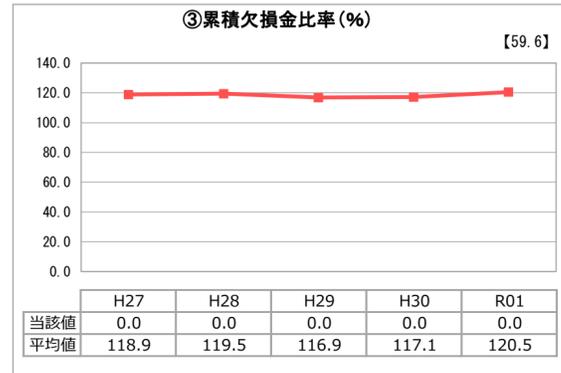
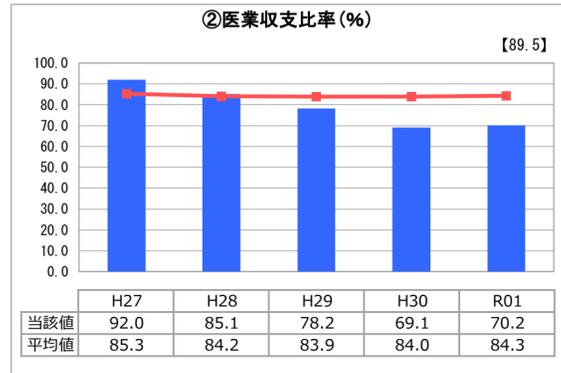
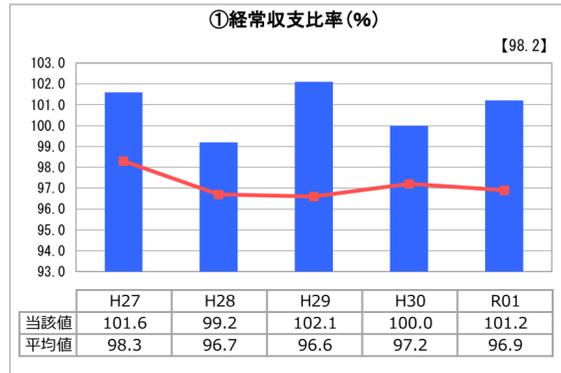
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

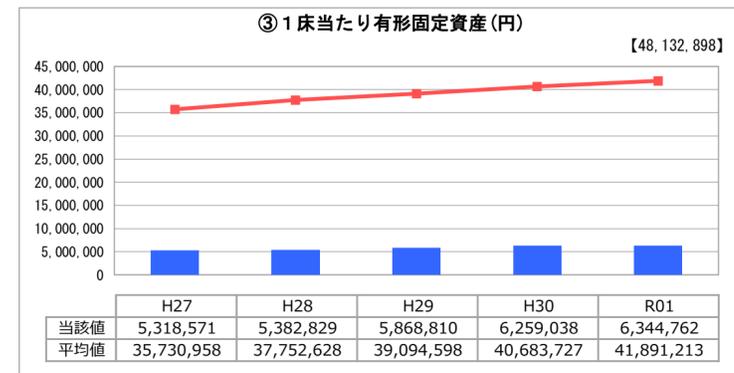
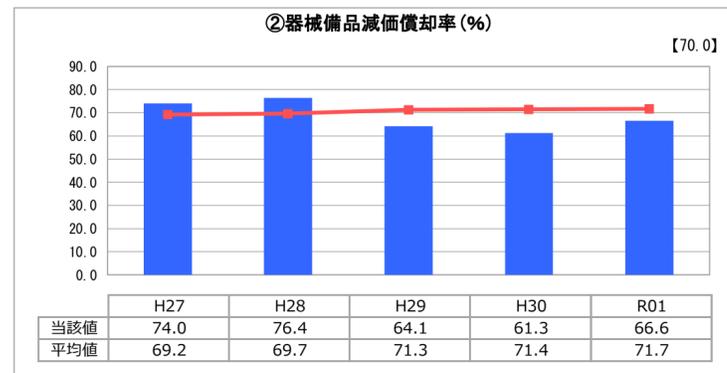
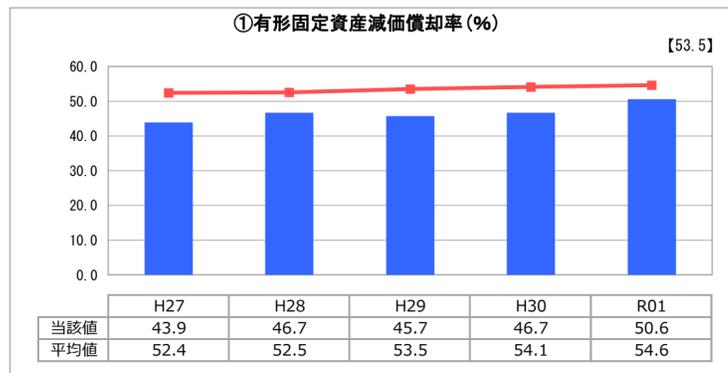
| 許可病床(一般) | 許可病床(療養) | 許可病床(結核) |
|----------|-----------|-------------|
| - | 105 | - |
| 許可病床(精神) | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計) |
| - | - | 105 |
| 稼働病床(一般) | 稼働病床(療養) | 稼働病床(一般+療養) |
| - | 105 | 105 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値(当該値) |
| - | 類似病院平均値(平均値) |
| [] | 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| - | - | - |
| 年度 | 年度 | 年度 |

I 地域において担っている役割

当院は、国立病院の再編計画に基づき、名寄市が国立療養所名寄病院の経営移譲を受け、平成15年に開院しました。
開院以来、道北における療養型医療機関としての役割を担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

昨年度より入院収益の落ち込みが続いており、医業収支比率が横ばいとなりました。経常収支比率が100%付近を推移しているものの、これは医業外収益である他会計補助金によるもので決して楽観視できるものではありません。
病床利用率の回復を図り採算性を高めることで経営の改善に取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

当年度には超音波画像診断装置の更新を行っており、器械備品減価償却率は平均値を5.1ポイント下回り、計画的な機器の更新に努めています。
しかしながら、築年数の経過から建物の老朽化が著しく、今後のあり方を検討しつつ、必要な維持管理を図ります。

全体総括

経営状況の改善に当たっては、入院患者数の確保が必要となります。名寄市立総合病院をはじめとする地域の病院の連携強化を図っているものの、他院における状況にも左右されることから改善に苦慮する状況が続いているのが現状です。
費用のコントロールなど最大限の改善を計りつつ、地域全体での回復期・慢性期病床の必要量を計りながら当院の持つ機能のあり方の検討を進めることが求められています。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。